

「第5次裾野市総合計画後期基本計画(骨子案)」 パブリックコメント制度の実施結果について

(裾野市市長戦略部戦略推進課)

「第5次裾野市総合計画後期基本計画(骨子案)」について、パブリックコメント制度によりご意見を募集したところ、次のとおりご意見をお寄せいただきました。貴重なご意見をありがとうございました。いただいたご意見の内容とそれに対する市の考え方を公表いたします。

1. 募集期間

令和7年9月24日(水)～令和7年10月23日(木)

2. 意見の提出方法と人数・件数

提出方法	人数(人)	件数(件)
窓口持参	1	9
電子メール	1	5
郵送	0	0
FAX	0	0
ウェブサイト	3	4
計	5	18

3. 意見の内容と市の考え方

No.	該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	施策 111 出会い・結婚・出産し やすい環境づくり	非婚・晩婚 出会いもあるが根本のなぜ結婚しないかの理由は別にあるのでは	以下のとおり市の考えをお示します。 非婚・晩婚の背景には、単に「出会いの機会が少ない」という課題だけでなく、経済的な不安、仕事や生活の価値観の変化、結婚や子育てに対する社会的なプレッシャーなど、複合的な要因があると認識しております。 市では、出会いの機会の提供に加え、結婚・出産・子育てに対する不安を軽減するための支援策や、若者が将来に希望を持てるような環境整備も含めて検討しています。結婚に対する価値観やライフスタイルの多様化を尊重しつつ、希望する人が安心して結婚・出産できる社会の実現を目指してまいります。
2	施策 123 ひとりひとりを大切に する教育の推進	一人一人を大切教育 言語、文化、宗教の違い。宗教の違いを軽んじては、多様性の教育は実現できない	以下のとおり市の考えをお示します。 施策の柱の方向性において、多様性の重要性について述べています。宗教も含めた多様性を意識した教育を進めてまいります。
3	施策 135 家庭教育の充実	家庭教育の向上 家庭が子供にとって必ずしも、安寧で安心できる場所とは限らない	以下のとおり市の考えをお示します。 家庭が子供にとって、身近な場所であるべくところで、安寧で安心できる場所であっていただきたいと考えております。また、施策 135 は家庭教育力の向上に取り組むもので、施策 115「子どもの居場所づくりの推進」において、子供たちが安心して過ごせる居場所の確保に取り組んでまいります。
4	施策の柱 1-5 スポーツ・文化・芸術 に親しむ環境づくり	スポーツ・文化 本当の目的は、健康な精神と身体を作ること。	以下のとおり市の考えをお示します。 スポーツ基本法においてスポーツは、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」とされています。 これらを達成するために、施策 1-5 では、あらゆる市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組んでまいります。
5	施策の柱 3-1 環境に配慮した持続 可能な社会の形成	浄化槽 合併処理は自治体の弱点になる。単独処理に転換時期がきている。	昨年度、公共下水道事業基本計画を大幅に見直し、当初の計画規模から約 4 割の縮小を行い、集合処理から個別処理へと転換を図っております。
6	施策 332 消費者支援の充実	消費者支援 インターネット犯罪は今後増加すると思われるので、早急の対応が望まれる。	以下のとおり市の考えをお示します。 施策 332 消費者支援の充実において、インターネットトラブルや消費者トラブルなどの共通の課題に関して、市民への周知・啓発に取り組んでまいります。
7	施策 352 地域福祉活動の推 進	地域福祉活動 地域のつながりに公共交通は無視できない。高齢者においても。	以下のとおり市の考えをお示します。 施策 352 では、安心安全な市民生活を送るうえで日頃から、地域との繋がりを持ち、顔の見える関係を構築することが重要であるとの認識に立ち、そのための支援をしていく必要性を記載しています。 公共交通施策に関しましては、施策 4-4「誰もが移動しやすい交通環境の整備」に取り組んでまいります。

No.	該当箇所	意見の内容	市の考え方
8	施策の柱 4-3 良好な景観と良質な 住環境の形成(あり たい姿)	裾野市らしさとは? 具体には何なのか。	以下のとおり市の考えをお示します。 富士山等の山並みや斜面緑地、黄瀬川等をはじめとする自然景観や起伏に富んだ地形、あるいは旧植松家住宅等の歴史・文化・伝統は裾野市の特徴や個性と考えています。
9	大綱5 時代のニーズに応え られるまち	総合計画の下に市長戦略があるべき姿	以下のとおり市の考えをお示します。 市長戦略は総合計画を推進するとともに、施策の重点化を行っております。
10	大綱3 安全安心に住み続 けられるまち	高齢化に対しての社会環境の整備・便利な交通機関で高齢者が住み良い町づくり・充実した医療機関の整備(誘致&再編成)・町内活動の支援と協力	以下のとおり市の考えをお示します。 大綱3では、皆様が安心・安全に住み続けられる社会環境の整備に向けて、引き続き取り組んでまいります。 公共交通施策では、施策 442: 新たな公共交通網の検討・導入において、ニーズを的確に捉え公共交通網の形成に取り組んでまいります。 また、町内活動の支援と協力では、施策 511: 自治会等との連携推進と活動支援により、地域コミュニティ活動の支援に取り組んでまいります。 なお、市では、「裾野市における医療体制のあり方に関する検討会」において市における医療体制の現状及び課題並びにこれらに対する今後の対応について検討をしております。
11	□454 道路の管理・維持補 修 □452 主要幹線道路の整 備 □453 生活道路の整備	<p>■交通安全にかかわる改善提案</p> <p>(1) 美化センターに通じる狭隘道路について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当道路は道幅が狭くすれ違いが困難な箇所が多くあります。清掃車など大型車の通行量も多く、この通りに慣れていない一般車などが路肩からの転落事故や正面衝突の可能性も高く、非常に危険な道路であることは間違いありません。 ・そればかりか、山間の谷に道路があるため、大雨や台風の際、土石流や土砂崩れなどが発生する場合も想定され、復旧まで時間がかかることが明白です。 ・このことは単に通行止めが発生するというだけでなく、裾野市のゴミ処理が停滞もしくは継続不可能になる可能性を含んでいます。他の市町村で焼却炉が火災で使用不能になり、市民生活に多大な影響を及ぼしたとの報道もあり、看過できない状況にある道路と言えます。 ・こうした非常事態が起きないように、この道路は他の道路と比較しても重要な道路であり、現状を速やかに改善するべきと考えます。 ・美化センターの施設そのものの移転をすることも含めて、移転に時間がかかるなら、道路改修を積極的に計画していくことを提案します。 ・このような道路は他にもあると思われますが、市民生活に直結した重要道路の維持管理は確実にを行うことを提案します。 	以下のとおり市の考えをお示します。 一般廃棄物処理体制については、「広域連携による処理」に加え、「公民連携による処理」も検討しております。 ご指摘の通り、美化センターへのアクセス道路の道路幅が狭いことは認識しており、市民生活に直結する道路ですので、必要な維持修繕を行ってまいります。

No.	該当箇所	意見の内容	市の考え方
12	<input type="checkbox"/> 454 道路の管理・維持補修 <input type="checkbox"/> 452 主要幹線道路の整備 <input type="checkbox"/> 453 生活道路の整備	<p>■交通安全にかかわる改善提案(2)大橋内科小児科医院北側の信号アリ交差点付近の交通規制について・佐野北交差点付近の交通状況を観察するにあたって、非常に危険な運転をする運転者が見受けられる。①西向き走行車の信号待ち渋滞が発生②信号右折予定車が渋滞回避のために逆走し一方通行路に入る③一方通行路から県道に出る車が飛び出し、県道北進車と接触の可能性が高まる④県道から信号を左折する車が大廻りし、対向車と接触の可能性が高まる・このような危険な状況が長年放置されている。・要因は、北進の一方通行路を利用する車がいることに起因すると考えられる。・対応策として、一方通行路を南進方向に反転させることを提案する。・南進にすることで②逆走者は無くなり、同時に③飛び出し車もなくなる。また、鋭角な交差点を④大廻せず、一方通行路出口の一旦停止を確実にすることで左折車の安全性が向上する。ただし、依然として①渋滞の緩和にはならない。・①渋滞の緩和については、交差点手前に2～3台分の右折レーンを設けることでかなり解消すると思われる。広い土地があればもっと長い右折レーンを設置したいが、せめて2～3台分あれば効果は大きい。・こうした場所は市内には数か所あると思われるが、生活道路の整備と言う観点から、早急に計画を策定していただきたい。</p>	<p>以下のとおり市の考えをお示します。</p> <p>ご提案の佐野北交差点付近における一方通行の変更については、もともと住んでいる方への影響も大きいため、実施は困難です。右折レーンの設置は、佐野北交差点に限らず、渋滞対策に有効であると認識しております。右折レーンの設置には時間を要しますが、構造上の問題、地権者との調整など課題をクリアできた箇所から右折レーンの設置を検討してまいります。</p>
13	<input type="checkbox"/> 454 道路の管理・維持補修 <input type="checkbox"/> 452 主要幹線道路の整備 <input type="checkbox"/> 453 生活道路の整備	<p>■交通安全にかかわる改善提案 (3)その他の地域の右折レーンの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右折車が朝夕の渋滞を増長していることは間違いないと言える。したがって前述のように、2～3台分の右折レーンがあれば比較的安価に渋滞を緩和できる。 ・その他の交差点例として図に示す。いずれも北進方向に対しての右折レーンを提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・裾野駅正面から伸びる県道 345 号裾野停車場線と県道 394 号沼津小山線の交差点になる佐野二本松交差点、その県道 394 号を少し北に行った小柄沢通りとの交差点。 ・この2か所は右折車が多く、時差式になっているところもあるが渋滞を解消できるほど十分ではない。 ・この2か所の交差点は代表例であるが、朝夕の渋滞を招く最大要因と考えられる。他にも市内交差点は右折レーンが少ないために、後続車に迷惑をかける場合が多く、運転者の気持ちを慌てさせ、安全を無視した運転を助長していると言えるため、右折レーン設置を早急な対策として提案する。 ・しかしながら、県道の改修となると市としては積極的な予算を組めないのかもしれないが、新規道路建設よりも安価に対応できるはずである。 ・こうした対策を実施することで渋滞ばかりではなく、焦りやイライラを低減させ安全な運転を促し、交通事故低減に向けた交通環境を実現できる可能性がある。 	<p>以下のとおり市の考えをお示します。</p> <p>ご指摘の2か所につきましては、駅西土地区画整理事業の進捗により、該当交差点の改良を図ってまいります。</p>

No.	該当箇所	意見の内容	市の考え方
14	□411 魅力を高める 基盤整備	<p>■道の駅構想への考え方提案・道の駅設置場所についていくつかの候補地があると思われるが、地域活性化を目指すなら一定レベルの規模による、集客能力が重要と考える。言い換えれば交通量の多い路線に面した施設である。つまり国道 246 号線沿線に設置すべきである。・他地域の道の駅を見る限り交通量が比較的少ない路線沿線の施設は、必ずしも地域の活性化に貢献しているとは言い難い。・南北に走る国道 246 号と、東西の裾野インター線から箱根仙石原への道路整備と連携する形で、交通の要所に道の駅の設置を提案する。・設置されれば地域経済にとって多大な貢献をすることは明らかと考えられる。</p>	<p>以下のとおり市の考えをお示します。 現在、市では道の駅基本計画の策定作業を進めております。いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。</p>
15	P14 1-2 次代を担う子どもの教育の推進	<p>現在、市は次期教育振興基本計画を検討しています。その内容と整合するように、文言においてもわかるようにしていただきたいです。 また、次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方の①深い学びの実践、②多様性の包摂、③実現可能性の確保を意識した者になるようお願いいたします。</p>	<p>以下のとおり市の考えをお示します。 現在、本市では第3期教育振興基本計画を作成しています。内容については現在協議を重ねている段階ですが、総合計画との整合は図っております。</p>
16	1-3 ライフステージに合わせた生涯学習の充実、1-5 スポーツ・文化・芸術に親しむ環境づくり	<p>この2つの施策に関わることで、部活動の地域展開を含めていただきたいです。市は「健康文化都市」を掲げ、心身ともに健やかで「暮らし満足度 日本一」のまちの実現に向けて市民、企業、行政が一体になってまちづくり取り組んでいるとアピールしています。部活動の地域展開は、単に中学校での活動を地域に移すことにとどまりません。子どものやりたいことを応援し、それが生涯学習にもつながるよう、地域資源を生かせるよう、全市をあげて取り組むことが必要となります。したがって、教育部だけの施策にならないような展開をお願いします。</p>	<p>以下のとおり市の考えをお示します。 ご意見の通り部活動の地域展開は重要な視点だと考えております。アスリート等の本物とふれあう機会を創出する産業施策との連携や家庭や個人の状況に応じた福祉施策の連携など関係部門との連携は不可欠なものだと捉えております。</p>
17	P17、1-3 ライフステージに合わせた生涯学習の充実 ■現状と課題	<p>4番目の、○ 社会教育では「家庭教育」・・・の項目は、屋上屋を架すものでいいのではないかと。</p>	<p>ご意見踏まえ、現状と課題を一部修正します。 「社会教育では、「家庭教育」の中で基本的な生活習慣や心身の調和と育成により活かせるよう施策を講じる必要があります。そのためには保護者自らが社会の形成に参画するなど、さまざまな理解を必要としています。」のうち、「そのためには保護者自らが社会の形成に参画するなど、さまざまな理解を必要としています。」を削除します。</p>
18	P18、■施策の柱の方向性	<p>2行目の「家庭教育の向上」文言削除。生涯学習は、学校教育、家庭教育、社会教育企業内教育、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動など多岐にわたる学習が含まれています。より豊かな人生を送ること。自分に合ったものを選択することが大切とされています。その点から考えても、「家庭教育の向上」は、裾野市教育振興基本計画で十分に謳われていると思います。新たな取り組みも可能だと思います。あえて生涯学習の計画の中に「家庭教育の向上」の文言を入れることで、貧困や学力、いじめや不登校等の問題の原因が家庭の教育力にあるような意識が醸成されないか危惧します。</p>	<p>ご意見踏まえ、施策の柱の方向性を一部修正します。 (修正前)市民が生涯にわたって生きがいを持ち、学習ができる地域社会の実現を目指すため、生涯学習活動ができる機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実と家庭教育の向上を目指します。 (修正後)市民が生涯にわたって生きがいを持ち、学習ができる地域社会の実現を目指すため、生涯学習活動ができる機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実と家庭教育力を高めることで家庭から地域や団体に活動する意識の醸成を図ります。</p>